

【研修報告】令和7年度第2回医療・介護関係者の研修のアンケート結果

資料2-②

実施日時 令和8年2月5日(木) 19:30~21:00

タイトル「入退院時の連携からの日常の療養支援」入退院時の連携を中心に

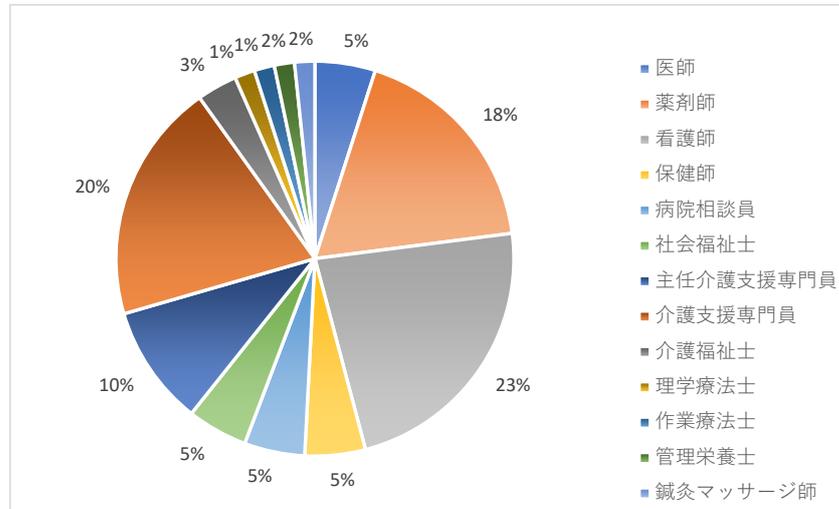
講師：日本医科大学多摩永山病院 患者支援センター

参加者70名

回答数48人/70人

回収率68%

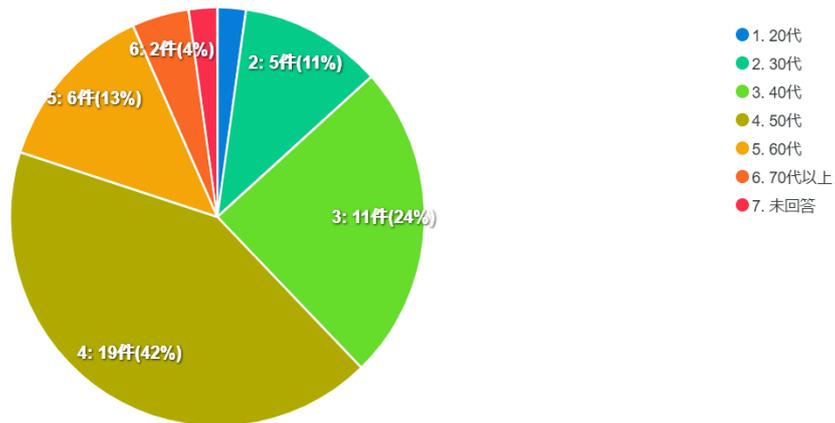
1. 参加者の職種



13職種が参加。

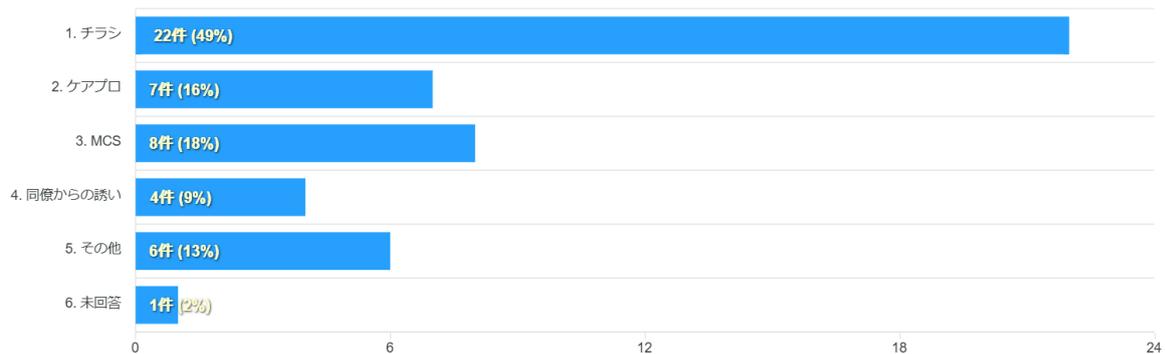
看護師、介護支援専門員、薬剤師の順で参加者が多い。

ご参加された方の年代を教えてください



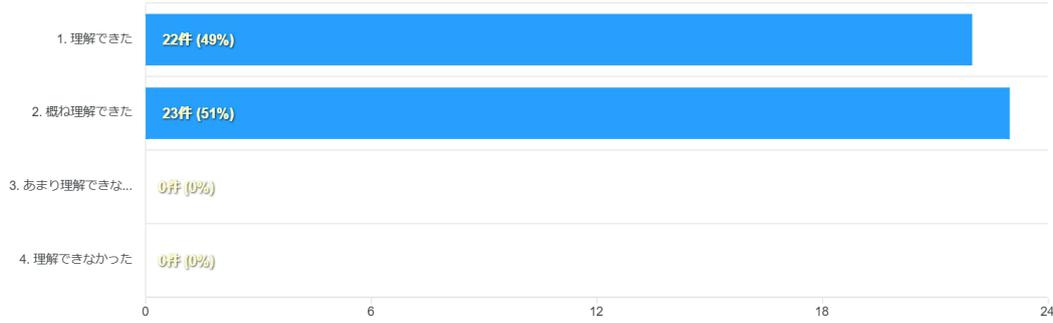
年齢層はやや若い。

今回の研修はなにで知りましたか。



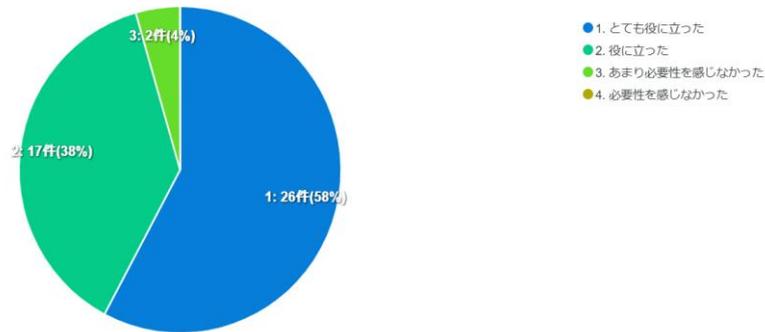
・今回初めて周知方法を集計。チラシが一番多かった。

本日の講話「外来時の在宅療養支援」について理解できましたか（当てはまるもの一つ）※さらに聞きたいことがある場合は、その他を選び記入してください。



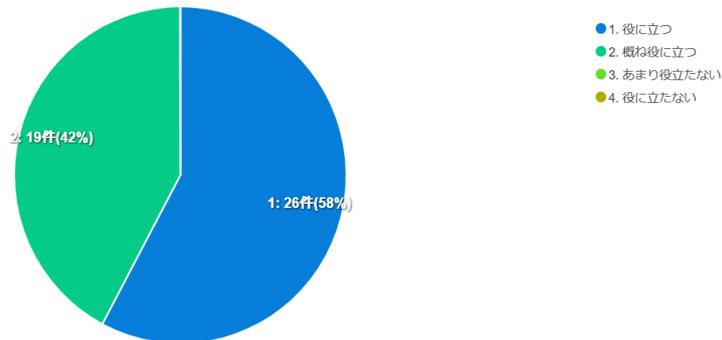
・前回と同じ病院の講師であり話の統一性があった。

本日のグループワークはいかがでしたか（当てはまるもの一つ）



・10グループでグループ分けした。内服の管理など在宅での課題も出ていた。医師の参加も多めで病院相談員もおりなごやかに意見交換できた。

この研修は実務で役立ちそうですか（当てはまるもの一つ）



まとめ 今回は日本医科大学多摩永山病院の相談ルートについて具体的に知ることができた。病院は違っても原則は同じで早めの在宅生活の継続に向けてのアセスメントが重要。患者や家族への適切な説明。身寄りのない人への支援は金銭情報の把握も重要。